

## 「シニア連盟ユニフォーム規定」の補足事項

本ユニフォーム規定は、東京都サッカー協会シニア連盟の規定であり、全国大会、全国大会関東予選会、関東選手権等については、それぞれの大会要項に定められた規定に従うこととなります。

第1条 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

### 【補足1】

「本競技会に登録した」色のユニフォームを着用することを基本としますが、ユニフォームとして色の要件（相手チーム及び審判との識別、ゴールキーパー（以下 GK）の場合は他のフィールドプレイヤー（FP）との識別が可能な色）と表示要件（チーム識別標章（チーム名、チームエンブレムもしくはその両方）と選手番号（前面及び背面）の表示）を満たしていれば、選手登録表に記載された色以外でも容認します。

例えば正規の GK が当日急遽体調不良、アクシデント等により不参加となり、FP が GK として出場せざるを得ない状況において、登録された色の GK ユニフォームではなく FP の副ユニフォームを着用することは認められます。

第2条 正・副の2色については明確に異なる色とする。

### 【補足2】

競技規則「競技者の用具」では、以下の通り定められています。

- ・両チームは、お互いに、また審判員と区別できる色の服装を着用しなければならない。
- ・それぞれのゴールキーパーは、他の競技者、審判員と区別できる色の服装を着用しなければならない。
- ・両チームのゴールキーパーのシャツが同色で、両者が他のシャツと着替えることができない場合、主審は競技を始めることを認める。

シャツについては、さらに JFA ユニフォーム規定で「シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。」と定められ、黒や紺のシャツは着用不可となります。

ショーツ、ソックスは、審判との識別に大きな影響を与えないことから黒や紺の着用を認めます（ショーツ、ソックス同時に黒や紺を着用することも容認）。

### 【補足3】

GK のショーツ、ソックスは FP と同系色の着用は原則不可とします。FP から GK に交代する場合、通常の交代であれば GK 用のショーツ、ソックスに着替えることが必要です。ただし、GK の負傷や退場に伴い FP が GK と交代する場合など、やむを得ない状況においてはこの限りではなく着用を容認します。その場合はシャツについても規定外の対応を容認し試合の継続を優先します。

### 【補足4】

ユニフォームのデザイン、メーカーロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であり識別に支障のない範囲であれば同

一のユニフォームとして認めます。例えばソックスのラインの有無や襟のデザインの違いは問いません。

第3条 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

第4条 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ・ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

#### 【補足5】

事前に対戦チーム同士でユニフォームの色を取り決めることは構いません。ただし色彩が類似して判別し難いと主審が判断した場合や、不測の事態においては最終的な決定は主審が行います。そのような事態に備えて第1条記載の通り正・副2組のユニフォームを持参して下さい。

第5条 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

第6条 アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。

第7条 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。

#### 【補足6】

アンダーシャツはフィールドプレーヤー（以下FP）とゴールキーパー（以下GK）との間は異なる色で良いですが、FP同士、GK同士はチーム内で同色に限ります。アンダーショーツおよびタイツも同様です。シャツ（あるいはショーツ）と同色と、それ以外の色（例えば黒）の混在は認められません。

#### 【補足7】

アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツは、色が統一され識別に支障がない範囲において、細いラインや縫い目の有無、メーカーロゴの有無等の差異は容認しますが、識別に影響が出るおそれのある太いラインなどは着用不可となります。具体的な判断は本部担当チームが行ってください。また、リーグ内で取り決めることも認めます。

以上